



篠ノ井東中学校学校だより

令和4年度
第6号

令和4年11月21日

発行：篠ノ井東中学校

文責：教務(両角)



☎380-8003 長野市篠ノ井小森 840 番地 TEL 026-292-0135 FAX 026-292-0637 Web サイト更新中

11月も半ばを過ぎ、2学期も後半を迎えています。引き続き、新型コロナウイルス感染症への対策を講じながら教育活動を行ってきた10月～11月の様子を、写真と共に紹介します。

【 東中生の「志」がつどい、「大志」となった第57回桐章祭 】



第57回桐章祭が、秋晴れの空のもと、大成功のうちに閉幕しました。今年も、勵志館内の参観は3年生保護者の方に制限させていただきましたが、保護者の皆様には深いご理解とご協力をいただき、全ての活動を実施することができました。ありがとうございました。

【開祭式】では、生徒のカウントダウン手拍子により、カウントダウンポスターと全校制作が披露されました。芸術部による色鮮やかなステージバックも披露されると、館内が一気に文化祭モードに変わりました。「今日までの道のりの中で、仲間とぶつかることもあったことでしょう。しかし、それを乗り越えて1人1人の志が集まれば、きっと大きな力になります。今日は全校で力を合わせて、桐章祭を成功させましょう!」・・・生徒会長の力強い挨拶で1日の幕が開けました。

【ステージ発表Ⅰ】では、これまでの活動が見える各学年及び生徒会の発表と、授業での学びが見える英文スピーチがあり、本年度上半期の成果を全校で共有できるひとときになりました。

昼食後の新企画【学級対抗綱引きクラスマッチ】では、学級内の有志による「プレ東中広場」と異なり、クラス全員の呼吸と力を合わせて汗を流す姿や、学年を越えて応援し合う姿が見られ、東中生のさわやかさとあたたかさを感じることができました。

【ステージ発表Ⅱ】では、澄み渡った歌声に感動を覚えた合唱部、力強い演奏と振り付けに釘付けに

なった吹奏楽部、ダンス・歌・3学年職員のコント等を心から楽しむことができた有志発表、そして、下級生にとって大きな憧れを抱いた3学年合唱発表があり、生徒の表情から満足した様子が伺えました。

【閉祭式】では、東中広場・プレ東中広場・学級紹介ポスター等への表彰が行われ、互いのがんばりを認め合う場面がありました。これを受けて、学校長からは、「3年生があるべき姿を示してくれたことで、至る所で東中生の輝く姿が見られた。自分の役割と責任を果たし、全校の力で成功につながったことをこれからに生かしてほしい」との講評がありました。

このようにして、東中生の笑顔と仲間と協力しあう姿が随所に見られた今年の桐章祭。ここでのChallenge(挑戦)とChange(変化・成長)を今後につなげて、更に高め合い、Change(変化・成長)していく東中生であってほしいと思います。



【 歌声とハーモニーが響き渡った「学年別 合唱発表会」 】

当初は、桐章祭の二日目に校内音楽会として実施する予定でしたが、夏休み明け新型コロナ第7波の影響を考慮し、10月後半に延期の上、「学年別 合唱発表会」として実施しました。当日は、会場準備と進行も「学芸委員」が中心となって行い、生徒が主体的に参画する場にもなりました。

3つの学年共に、指揮者に寄せる視線、ピアニストと指揮者の阿吽の呼吸、そして何よりも、響きのある歌声と心地よいハーモニーが久しぶりに

励志館内に響き渡りました。学年主任からは「心の中に歌声がまだ響いているような発表会になりました。感染症対策をとって、練習場所や練習形態も工夫するなど、十分な練習ができない中ではありましたが、聴く姿勢も含めて、皆の力で作りあげた発表会になったことに心から感謝します」との講評がありました。各学年で70名を超える保護者の方にもご来校いただき、あたたかな拍手をいただきました。ありがとうございました。

【 思いやり、支え合う学校を目指して～11月は後期人権教育強調月間～ 】

1日(火)の「人権教育参観日」では、多くの保護者の皆様、そして篠ノ井地区人権教育研究委員の皆様にご来校いただき、ありがとうございました。1年生では県教委が作成した「人権カルタ」、2年生では「あけぼの」掲載の「ふと目の前に」という読み物資料、3年生では「結婚差別」を取り上げた映像資料を用いて、互いの考えにふれて自己の考えを深める授業を行いました。生徒からは、「人権カルタの絵から色々な言葉が出て、みんな違ってみんないいと思った(1年生徒)」「思い込みや勘違いで、人を傷つけたり、責めたりしないようにしようと思った(2年生徒)」「この学習を通して、差別を見かけたらそれは間違いだよと伝えることができるようになりたい(3年生徒)」と振り返りがありました。今回の後期月間でも「人権に関する知的理解」と「人権感覚を高める」ことを大きな目標にしています。認め支え合う学校を目指して、今後も学習を継続してまいります。

